|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校算数科用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい算数」  **年間指導計画作成資料**  **略案**  **【２年】** |

令和5年（2023年）5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数　第２学年　年間指導計画案

・**発展**印は、発展的な学習の内容を示しています。

・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

| **上巻** | | 単元 | 指導時数 | ページ | 指導内容 | 学習指導要領 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前期 | １学期 | ★学びのとびら | 1 | 2～7 | ●数学的活動を通した算数科の学び方の確認 | 第１学年の内容 |
| １．グラフとひょう | 3 | 8～11 | ●簡単な一次元表、グラフの読み方、かき方 | D（1） |
| ２．たし算のひっ算 | 8 | 12～23 | ●2位数と1～2位数の加法計算  ●加法の筆算形式  ●加法の交換法則と検算の方法 | A（2）  内取（3） |
| 123 | **発展** カードを用いた加法の筆算づくり |
| ３．ひき算のひっ算 | 8 | 24～35 | ●2位数から1～2位数をひく減法計算  ●減法の筆算形式  ●減法と加法の関係  ●減法の検算の方法 | A（2） |
| 123 | **発展** カードを用いた減法の筆算づくり |
| ★どんな計算になるのかな？ | 2 | 36 | ●2位数の加減についての演算決定 | A（2） |
| ４．長さのたんい | 9 | 37～49 | ●長さを表す単位の必要性、有用性  ●物差しの目盛りの読み方、使い方  ●長さの単位「センチメートル、ミリメートル」  ●1cm＝10mmの単位関係  ●直線の概念  ●長さについての加減計算 | C（1） |
| ５．３けたの数 | 12 | 50～65 | ●1000までの数の読み方、書き方  ●3位数の位取りの原理、数の構成  ●1000までの数の相対的な大きさ  ●1000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方  ●10や100を単位とする数構成に着目した加減計算  ●数構成に基づく加減計算（500＋30、530－30など）  ●大小、相等を表す記号の使い方 | A（1）（2） |
| 124 | **発展** 数の構成に基づく数の大小判定方法の説明 |
| ６．水のかさの たんい | 8 | 66～75 | ●体積を表す普遍単位の必要性、有用性  ●体積の単位「デシリットル、リットル、ミリリットル」  ●１L＝10dL、１L＝1000mLの単位関係  ●体積についての加減計算 | C（1） |
| ７．時こくと時間 | 2 | 76～79 | ●時刻と時間の概念、区別  ●１時間＝60分、１日＝24時間の単位関係  ●午前、午後の意味 | C（2） |
| 124 | **発展** 時刻と時間の意味の正確な使い分け |
| ☆おぼえているかな？ | － | 80 | ●既習内容の理解の確認 | － |
| ２学期 | ８．計算のくふう | 5 | 81～85 | ●加法の結合法則、（　）の使い方  ●簡単な加減の暗算のしかた | A（2）  内取（2）（3） |
| ９．たし算とひき算のひっ算 | 10 | 86～99 | ●和が3位数になる、2位数と1～2位数の加法計算  　・繰り上がり1回及び、2回の場合  　・波及的に繰り上がる場合  ●差が2位数になる、3位数から1～2位数をひく減法計算  　・繰り下がり1回及び、2回の場合  　・波及的に繰り下がる場合  ●百の位への繰り上がりがない、3位数と1～2位数の加法計算  ●百の位からの繰り下がりがない、3位数から1～2位数をひく減法計算 | A（2）  内取（3） |
| 125 | **発展** 3つの2位数の加法筆算 |
| 10．長方形と正方形 | 10 | 100～112 | ●三角形、四角形の概念と用語  ●辺、頂点の意味  ●直角の概念  ●長方形、正方形の概念、性質、かき方（方眼紙を利用）  ●直角三角形の概念、性質、かき方（方眼紙を利用） | B（1）  内取（5） |

| **下巻** | | 単元 | 指導時数 | ページ | 指導内容 | 学習指導要領 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 後期 | ２学期 | 11．かけ算(1) | 17 | 2～24 | ●乗法の意味  ●倍概念の基礎  ●5の段、2の段の九九の構成  ●3の段、4の段の九九の構成  ●「かけられる数」「かける数」の用語と意味  ●乗数と積の大きさの関係の初歩的な考察  ●活動を通しての九九の習熟 | A（1）（3）  内取（4） |
| 12．かけ算(2) | 15 | 27～48 | ●6の段、7の段の九九の構成  ●8の段、9の段、1の段の九九の構成  ●かけ算九九の表の考察  　・乗数と積の大きさの関係  　・乗法の交換法則  　・簡単な2位数×1位数の乗法計算  ●倍とかけ算  ●かけ算九九を適用して解決する問題 | A（1）（3）  内取（4） |
| ☆おぼえているかな？ | － | 49 | ●既習内容の理解の確認 | － |
| ３学期 | 13．４けたの数 | 11 | 50～63 | ●10000までの数の読み方、書き方  ●4位数の位取りの原理、数の構成  ●10000までの数の相対的な大きさ  ●10000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方 | A（1）（2）  内取（1） |
| 14．長いものの 長さのたんい | 6 | 64～71 | ●長さの単位「メートル」  ●１m＝100cmの単位関係 | C（1） |
| 15．たし算とひき算 | 5 | 72～79 | ●減法逆の加法、加法逆の減法等の問題解決  ●加法と減法の相互関係 | A（2）  内取（2） |
| 109 | **発展** 減法逆の減法の問題解決 |
| 16．分数 | 5 | 80～88 | ●具体物を用いて1/2や1/3などの大きさを作ること  ●1/2や1/3などの数を分数と呼ぶこと | A（1） |
| デジタル | **発展** 倍と分数を用いた数量の関係の考察 |
| ☆おぼえているかな？ | － | 89 | ●既習内容の理解の確認 | － |
| 17．はこの形 | 5 | 90～95 | ●箱の形を基にした立体と平面の関係  ●立体図形（立方体、直方体）の構成要素としての頂点、辺、面の特徴 | B（1） |
| 109 | **発展** 展開図による立方体の向かい合う面の考察 |
| ★計算ピラミッド | 2 | 96～97 | ●1～2位数の加減計算の習熟  ●伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察 | A（2） |
| ★2年のふくしゅう | 4 | 98～102 | ●2学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り | A～D |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年間の総時数  標準時数　　**175** 時間 | ２学期制 　前期 **78** ＋ 後期 **70** ＝ **148** | 予備時数  **27** 時間 |
| ３学期制 　１学期 **53** ＋ ２学期 **57** ＋ ３学期 **38** ＝ **148** |